

石高神社

第二十一号

発行日 平成十五年十二月十五日
発行者 石高神社 宮司 高原 章兆
発行所 岡山市円山八五三

本殿縁等修理会計報告

おかげをもちまして本殿縁および千木・鯉木の修理を行うことができました。その際にはご出費、ご多端の折柄、ご浄財をご寄進いただきまして誠にありがとうございます。おかげを持ちまして当初の目標額に達成することができました。遅くなりましたが、紙面を借りて厚くお礼申し上げます。左記に収支会計報告をさせていただきますので、ご高覧ください。

記

収入の部

寄付金 三、〇三九、六六〇円

預金利息 九、八八六円

計 三、〇四九、五四六円

支出の部

趣意書印刷 二八、〇〇〇円

修理費用 二、九五一、三四〇円

計 二、九七九、三四〇円

差し引き剰余金

七〇、二〇六円

なお、剰余金は修理のための繰越金とさせていただきます。今までの修理繰越金合計残高は今回の繰越金を入れて九一六、六三一円になります。このお金は修理用の予備費として貯金していますが、今回の支払い時には、まだ目標額に達していませんでしたのでこの中から一時的に使用しました。

氏子内の神社・神祠③ 正八幡宮

幡多小学校北西の高屋字正上に鎮座しており、八幡宮のご祭神である仲哀天皇、神功皇后、応神天皇をご祭神としてお祀りしています。本殿、拝殿および隨身門があり、文政十三年庚寅八月吉日と刻んだ石鳥居が立っています。正八幡宮とは「正真の八幡宮」の意ですが、字名と掛けてつけた神社名なのかもしれません。由緒来歴は不明です。

正月の行事ご案内

元旦の午前〇時から歳旦祭を行い、氏子の皆様を始め、天下四方の人々のご多幸をお祈りします。引きつづき一時前まで新年家内安全祈とうを行っております。三が日は午前九時ごろから午後五時ごろまで拝殿にてお参りをお待ちしております。

厄祓いは数え歳がひとつ増える正月に行います。当社の宮司は、平日は勤めに出しておりますので、元日から七日までか、一月の休祭日または二月一日にお参りください。数え歳で男二十五歳・四十二歳、女十九歳・三十三歳が大厄とされています。また、祝い歳といつて男女ともに六十一歳は還暦、七十歳は古希、七十七歳は喜寿、八十八歳は米寿、九十歳は卒寿のお祝いをします。他にも厄・祝いの歳はありますし、前厄・後厄もあります。これらの歳以外でも気になる方はお参りください。最近では、誕生日前後に満の歳でされる方もあります。

古神札焼納祭およびどんど焼き

古い御神札は清浄な場所で焼くか、近くの神社に持参して焼納してもらおうと良いでしょう。お守りや神棚についても同様です。当社には平素は、納札箱がありません

ので、正月および夏と秋の祭りの時にご持参くだされば焼納致します。古神札焼納祭はどんど焼きと同時に実施しております。来年は一月十八日(日)の十時から十一時ごろまでを予定しております。

なお焼却にあたっては、塩化ビニルをはじめとするプラスチック類は、ダイオキシン発生抑制という観点から、あらかじめ取りはずす作業を行っています。正月の注連飾りについても同様の作業を行いますので、ご持参の際には、事前のご協力をお願いします。

自動車参道のご案内

自動車でお参りの場合は、宮山の東側を回って北側の自動車参道からお参りください。宮山の上まで上がる事ができ、**図P**付近に駐車できます。なお、境内の東側の道は表参道横まで通じており、駐車はできますが、回転できませんのでご注意ください。

